

平成25年度

夏の交通事故防止運動

○期間：7月21日(日)～8月20日(火)

○目的：① 行楽・帰省時などの長距離・過労運転による交通事故防止
② 夏休みにおける暴走族等の暴走行為の封印

○運動重点：① ゆとりをもった安全運行の推進
② 暴走族の根絶
③ 全ての座席のシートベルト等の正しい着用の徹底

～ 守ろう交通ルール 高めよう交通マナー ～

宮城県・宮城県警察

暑い夏 涼やかマナーで 爽やか運転

交通事故を防止するために

運転者は

- 「安全運転五則」や「高速運転安全五則」を励行し、交通ルールの遵守と交通マナーの実践をしましょう。
- 眠気、疲労を感じたら、早めに休憩しましょう。
- 過労運転にならないよう十分な休養を確保しましょう。
- ドライブや旅行は余裕のある計画を立て、ゆとりある運転をしましょう。
- 運転者は、同乗者にシートベルトやチャイルドシートを正しく着用させましょう。



歩行者は



- 横断歩道、信号機等を利用し、正しい横断をしましょう。
- 道路横断時の安全確認を徹底しましょう。
- 夜間は明るい目立つ色の服を着用し、反射材、LEDライトを有効活用しましょう。
- 「自転車通行可」の歩道上では、建物寄りを歩行しましょう。

地域・家庭では

- 車を使用した長距離旅行は、無理な計画を避け、ゆとりある計画を立てましょう。
- 車で出掛けるときは、シートベルトの着用など安全運転についての愛の声を掛けましょう。



職域では



- 安全運転管理を徹底し、過労運転を防止しましょう。
- 若者を対象に参加・体験・実践型の交通安全講習会を開催し、交通安全意識の高揚を図りましょう。

自治体・関係機関・団体は

- 過労運転の防止や暴走族の根絶等の広報啓発活動を強化しましょう。
- 主要幹線道路等において、一休み運動等街頭キャンペーンを実施し、過労運転の防止を呼び掛けましょう。



安全運転五則

- ① 安全速度を必ず守る
- ② カーブの手前ではスピードを落とす
- ③ 交差点では必ず安全を確認する
- ④ 一時停止で横断歩行者の安全を守る
- ⑤ 飲酒運転は絶対しない

高速運転安全五則

- ① 安全速度を守る
- ② 十分な車間距離をとる
- ③ 割り込みをしない
- ④ わき見運転をしない
- ⑤ 路肩を走行しない